

佐伯南中学校区では、校区内の4小学校（上堅田小、下堅田小、木立小、青山小）と合同で校区学校運営協議会を組織し、小中及び小小連携の中で、方向性を合わせて教育活動を実施している。

### 背景・取組概要

各校から6名（保護者代表2、地域代表2、校長、CS担当教員）を基本として33名で組織され、年3回を基本として開催される。  
R4年度は、2つの活動方針（「学校教育目標の実現」と「地域安全防災の推進」）にそって作業部会を構成し、第2回学校運営協議会の前に、各作業部会を開催する予定。

### 工夫・ポイント

- ◆『CS未来創造』を掲げ、校区で統一した重点目標及び目指す児童生徒像、重点目標等を設定している。（※各校では、それをもとにより具体的な指標等を設定）
- ◆校区CS委員にも分かりやすいよう、内容の焦点化をはじめ、資料もシンプルな表現で設定している。
- ◆R4年度は、昨年度の方針に加えて、“地域安全防災”に関する活動方針を設定するなど変化を付け、地域に根ざした視点からの活動に取り組んでいる。

### 特徴的な活動

- ◆新たな取組とした「地域安全防災の推進」については、県指定研究の一環として、研究指定が終わった後も、持続した取組になることを想定している。  
→スケジュールについて、CSでの作業部会、総合防災訓練、公開研究発表会と、流れが示されている。（左画）  
→市で10月に実施する「総合防災訓練」において、各校区の児童生徒がどのような形で訓練に参加するかが作業部会のテーマの一つとなる。
- ◆協議では、校区の教育目標実現に向けて、家庭と地域の重点的取組について意見交換を行った。  
その際、5校のCSメンバーを混在させた5グループに分け、各校長が進行を務めながら熟議を行った。（右画）  
→参加者からは各校の情報交換は有意義であったとの感想があった。



5校（1中4小）で構成される全体会



5校混在で小グループを形成して協議

#### ◎南中防災の取組

- (1) テーマ：自らリスクに気づき、考え、正しく  
自分と大切な人たちの命
- (2) つけたい力：防災知識、防災意識、防災実践力
- (3) 探求課題：1学年「地域の防災を担う中学生をめ  
2学年「地域の防災・地域戦略を他地  
3学年「防災実践力を身につけ、持続

#### ◎今後の予定

- > 6月3日（金）第1回地震・津波避難訓練  
○避難経路の把握、改善点を考える、率先避難と
- > 7月11日（月）第1回佐伯市防災教育実践委員会  
○南中防災の取組中間報告、大分大学 CERD 所長小
- > 8月2日（火）「第1回地域安全防災部会」  
○南中防災の取組について協議、率先避難生徒に
- > 8月予定「東北被災地訪問研修」  
○南中代表生徒及び中核教員参加→南中生徒及び
- > 9月予定「第2回佐伯市防災教育実践委員会」  
○南中防災の取組報告、総合防災訓練に向けた行
- > 10月予定「佐伯市総合防災訓練」  
○南中校区各校の児童生徒が積極参加、各校にて
- > 11月3日（木）第36回南中文化祭 ○生徒に
- > 11月10日（木）第2回地震・津波避難訓練  
○避難行動の改善、地域との連携「声かけ避難」の
- > 11月22日（火）「県指定防災教育公開研究発表会」  
○南中生徒研究授業、研究発表、指導・助言、地
- > 1月XX日第3回地震・津波避難訓練  
○ブラインドロリル（抜き打ち訓練）、これまでの
- > 1月予定「第3回佐伯市防災教育実践委員会」  
○今年度の取組の総括と次年度に向けて